

わが家でできる風水害対策

風水害による被害を最小限に食い止めるには、事前の備えが必要です。
ここでは、日頃の備え、避難の際の心得など、わが家でできる対策についてまとめました。

台風や集中豪雨がくる前に

外壁・ベランダ・窓などの備え

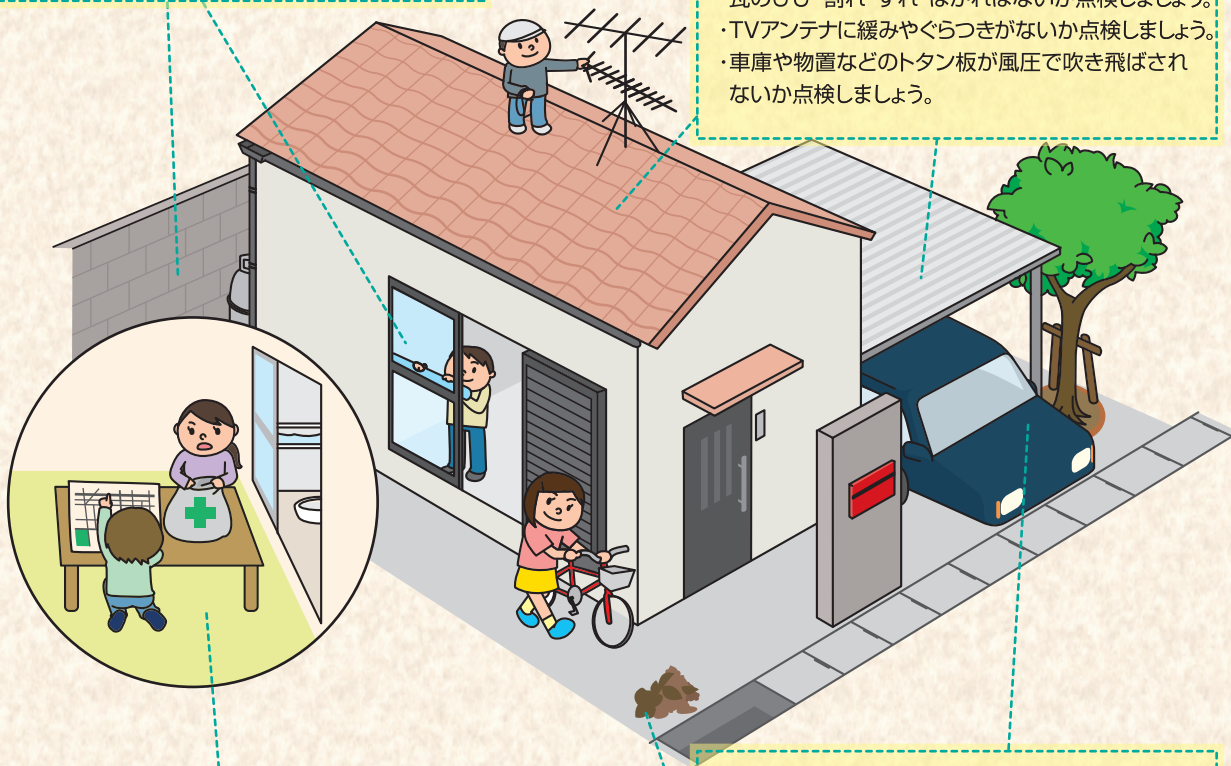
- ・壁に亀裂や腐りなどが点検しましょう。
- ・雨戸にかたつきはないか点検しましょう。
- ・プロパンガスのボンベはしっかり固定されているか点検しましょう。
- ・雨どいを掃除し、排水をスムーズにしておきましょう。
- ・ベランダの植木鉢など、風で飛ばされそうなものを室内へ入れましょう。
- ・窓が割れた時のガラスの飛散を防ぐため、テープを貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしたりしておきましょう。

損害保険の加入

- ・火災保険のなかには、火災だけでなく、台風・暴風や洪水、床上浸水、落雷などで家が損害を受けた場合に補償されるものがあります。
- ・被害にあった後の生活再建に役立つ火災保険の加入をご検討ください。

屋根の備え

- ・瓦のひび・割れ・ずれ・はがれはないか点検しましょう。
- ・TVアンテナに緩みやぐらつきがないか点検しましょう。
- ・車庫や物置などのトタン板が風圧で吹き飛ばされないか点検しましょう。



屋内での備え

- ・非常持ち出し品の準備をしておきましょう。
- ・停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオの準備をしておきましょう。
- ・断水に備えて飲料水を確保しておきましょう。
- ・浴槽に水を張るなどして、生活用水を確保しておきましょう。
- ・浸水などのおそれのある場所では、食料品・衣類・寝具などを高い場所へ移動しておきましょう。
- ・定期的に家族で防災会議を開き、ハザードマップ等で危険な場所や避難場所、避難経路を、また、お互いの連絡方法の確認をしておきましょう。

塀や庭などの備え

- ・ブロック塀にひび割れや破損がないか点検しましょう。
- ・側溝や排水溝のゴミや木の葉などを取り除き、水はけをよくしておきましょう。
- ・庭木に支柱を立てたりして補強しておきましょう。
- ・庭の物干し竿や自転車など、風で飛ばされそうなものを室内へ入れましょう。
- ・住んでいる土地の特徴を把握しておきましょう（くぼ地か、危険ながけはないかなど）。
- ・崩れそうながけがあれば、ビニールシートなどで覆い、雨の浸透を防止しておきましょう。